

2018年から4回の開催を重ねてきた「UNMANNED無人駅の芸術祭 / 大井川」。今年度「初」の取り組みとして「大井川・川越し街道」を新たなフィールドに追加させていただきます。

東西を行きかう人々の交流の要所であり、赤石山脈より180キロの急流を南北に流れ落ちる大井川は源流部が赤石に閉じられ流域が静岡県内にもにとどまる特異な河川。交流と断絶と境界の大井川に芸術祭としてより向き合い、土地の力、人々の力をアートを媒介にあらわしていきます。

12月には芸術祭として大井川とより深く向き合う表明を兼ねプレイベントを開催。4作家の作品発表を行うとともに、民俗学者であり舞踏作家である森繁哉氏による「奉納神事・大地言祝ぎ」の舞踏を披露。山と川の恵みに拠って大井川流域の暮らし、人の安寧と、その恵みを抱える大地の礼賛を告げます。

プレイベント [奉納神事] 開催概要

[会期] 2021年12月25日(土) - 26日(日) 【2日間】

[会場] 大井川・川越し街道(島田市) ※作品鑑賞は10時~16時 ※鑑賞無料

■レセプション(式典)■

[会場] 2021年12月25日(土) 13時30分開会(受付13時より) 15時閉会予定

[会場] 大井川・川越し街道 川会所(静岡県島田市河原1丁目13-10)

[式典内容(一部) ※鑑賞無料]

■奉納神事 開所(ひらく)の儀 / 森繁哉、巫座

民俗学者であり舞踏作家である森繁哉及び巫座による舞踏。山と川の恵みに拠って成り立ってきた大井川流域の暮らし、人の安寧と、その恵みを抱える大地の礼賛を告げる。

■直会 寿ぎ(ことほ)の宴 / 森繁哉、巫座、呪文座

大地より受け渡された神言を、暮らしの人々が歌を踊りを鑑賞しつつ祝い、生命の新たな復興を祈念する「生命劇」の宴



森繁哉 (民族学者・舞踏家)

1947年山形県出身 山形県在住 民俗学者 舞踊作家 「巫座」代表。東北芸術工科大学教授、田園学舎学長歴任後、作家活動に入る。日本古来の身体技法を現代芸術に昇華した数多くの舞台作品で、現代日本の最高の舞踏スタイルを確立したとして、フランス、ドイツなどに招聘される。インタークロス賞など受賞歴多数。著書「生命と舞踏」など多数。

新フィールド「大井川・川越し街道」への参加アーティスト

本開催(2/25~)に先駆け、プレイベント開催では4作家の作品展示やワークショップを開催。プレイベントからスタートする本開催に向けた作品制作のプロセスを体感できる取り組みとします。

小山真徳: 「タイトル(未)」 【仲間の宿】



旅人の視点を軸に制作。「よそ者」として訪れた土地において、生活者が普段見出すことのない置き去りにされたものたちに深い共感を寄せる。

夏池篤+山本直「続々川狩りCleaning & Reusing」 【街道内の空き地】



2019年「続・川狩り」(筏流し)を発表。今回は流れ着いた材木を陸揚げし、建物に変えていくプロセスを作品化する。

小鷹拓郎(映像作品)

「インドネシア人技能実習生、河童の狩猟方法を学ぶ」 【十番宿】



2021年発表作品の再上映。インドネシア人技能実習生、猟友会、笹間神楽保存会と共に、コロナワクチンとして効能が確認された「河童」の狩猟を試みるドキュメンタリー映画。

カ五山: 「タイトル(未)」 【街道全体】



加藤力・渡辺五大・山崎真一の美術作家によるアートプロジェクトユニット。各々の作品性を維持しながらも三位一体となりアートを媒体として地域社会の活性化を目指す「ゆるやかな共同体=協働体」である。

「無人駅の芸術祭 大井川」連帯へのメッセージ

大地言祝ぎ

ーコロナ禍から生命復興へー

幾多の自然災害、これまでに類を見ない気象環境の異変など、私たち人類は、今、未曾有の危機に直面していると認識されます。新型コロナウイルスのパンデミックもいまだ収束の兆しもままならず、今世紀最大の災禍も、こうした宇宙環境の危機と捉えなければならないのではないのでしょうか。否定史学を強弁するのではなく、それらのことは地球環境に住む私たちが、最も近々に実感している現実だと思えます。

こうした最中において、「無人駅の芸術祭 大井川」が開催されることは、継続している芸術祭であっても、やはりその意義は、大きな社会的使命を帯びてくるのではないかと考えられます。「無人駅」と称されているように、今、地域が抱える課題は、これまでの集落の在り方とは全く別種な概念を持たねばならない程に深刻かつ、困難な様相を持って、そこに住む人々を直撃しているように思えます。

集落機能の弱体化、地域産業の変動などなど、その、どれをとっても、容易に解決に向かう兆しの事態ではなく、深く、世紀に根差した世界史的な変動の中に、地域自体が埋没しそうな様相の内に在ると思えます。

そんな状況を前にして、島田市の有志の方々が芸術をひとつの軸として、地域創生の志を持って地域の活動を促して行こうと試みていくことは、どれ程、地域を勇気づけることでありましょう。今、地域は、そこに住む方々自らが、自らの地を耕し、その未来へのビジョンを思い描いていかなければならない期に入っていると思えますが、そうした転換期に、人々の結束を目的にしつつ、多くの英知の結集し、人と人の協同の行為を重ねていくことが果たす役割ほど、大きな活力はないのではないのでしょうか。

これまで大地の恵みを糧に地域を紡いできた先人たちの営みに連なりながら、人新世の時代へ突入していく今にこそ、真新しい想念と未来性に満ちた行動を持って、人間の時代を切り拓こうとすることに、多大な連帯の意志を持って参加させていただきますことを感謝申し上げます。そして、麗しき山河の永続を言祝ぎ、そこから、地域の、人と人の関わり方の源流たる生命の開きを祈念する予祝の行為を執行させていただきますことに、重ねて感謝、申し上げます。願わくば、生命のひと穂に大井川の水と連なる山並みの風が糧として加わり、大地環境全脈が将来に渡り、言祝がれますことを願っております。

「巫座」代表 森 繁哉

UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川2022開催概要

UNMANNED

無人駅の芸術祭／大井川

- 会期：2022年2月25日（金） - 3月21日（月祝）
- 会場：大井川鐵道無人駅とその集落及び川越し街道（静岡県島田市及び川根本町）
- プレ開催：2021年12月25日（土）・26日（日）

- *主催：NPO法人クロスメディアしまだ
- *支援：アーツカウンシルしずおか
- *助成：福武財団「アートによる地域振興助成」
島田市「アートによる地域づくり推進事業」
文化庁「ARTS for the future!」対象事業
- *協力：島田市、川根本町、大井川鐵道株式会社
- *公式サイト：<http://unmanned.jp/>

- *参加アーティスト：ai ai（アイアイ）・上野雄次・形狩りの衆・木村健世・小鷹拓郎・小山真徳・さとうりさ・しでかすおともだち+安部泰輔+UmaKinoshita・杉原信幸×中村綾花・TAKAGI KAORU・夏池篤+山本直・ヒデミニシダ・森繁哉、巫座、呪文座・ゆるかわふう+原正彦・カ五山（加藤力、渡辺五大、山崎真一）※15組